

議案第21号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第9号)

ため池の防災・減災対策について

○農村地域防災減災事業費 1,100万円

【概要】 地震や集中豪雨などによる災害を防止し、農村地域の防災能力の向上を図るため、ため池耐震調査などの総合的な防災・減災対策を実施するもの。

質疑 **ため池耐震調査の進捗状況はどうなっているのか。**

答弁 今回の補正予算と令和5年度の当初予算により、防災重点農業用ため池42池のうち8池の耐震調査を行い、これによって、これまでに耐震調査を行ったものと合わせて40池を終了し、残りの2池は調査不要であるため、令和5年度までに全ての防災重点農業用ため池の耐震調査を終える予定となっている。

討論(要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

<議案第1号～議案第23号について>

諸派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

議案第1号に反対 その他議案は賛成

政府による強硬な推進策に従うマイナンバーカードの交付、市民の生存権を守るべき生活保護行政が市民の人権を侵害する異常さ、市民のための生活交通への取り組みが全く進んでいないなど、賛成できない。



自由民主党
鈴鹿市議団

森 雅之 議員

全議案に賛成

さまざまな施策がある中、特に自治体DX推進計画は、本市の未来に向けた非常に重要な方針である。重点取り組み事項などを確実に推進し、市民の利便性と行政サービスの向上につなげていくことが求められる。



市民の声

中西 大輔 議員

全議案に賛成

次期総合計画以下、各種計画について、作ることが目的化しないように取り組むこと、また、若い世代や女性の声を聴くこと、参画機会の拡充、できる範囲で決定するところまで任せることを期待する。



<請願第1号について>

諸派
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

請願第1号に賛成

難聴は社会や家庭内での孤立、思考力の低下、脳の萎縮により、鬱や認知症の危険因子となる。高齢者の社会参加と健康寿命の延長、認知症予防のためにも、全国的に広がっている補聴器購入の補助制度が必要。



各委員会での主な議案審査状況、討論および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画(YouTube)をご覧いただけます。

